

第 6 1 期 報 告 書
フクダ電子株式会社
2008.03

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで



 **FUKUDA
DENSHI**

<http://www.fukuda.co.jp>

証券コード：6960

社会的使命に徹し、
ME機器の開発を通じて、
医学の進歩に寄与する

私たちは、いつの時代もこの経営理念のもと
皆様の健康をお手伝いしてまいりました。

いつの時代でも

健康を願う皆様の想いに変わりはありません。

これからも私たちはこの経営理念のもと

「安全・安心・快適」を

医療の現場に提供してまいります。

私たちは患者様、医療スタッフの皆様の

サポーターであり続けたい。

更なるチャレンジ精神を持って歩み続けます。

ごあいさつ



代表取締役社長

福田 考太郎

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。ここに第61期(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)の報告書をお届けするにあたり謹んでご挨拶申し上げます。

今期より内部統制の法制度による義務化がスタートしました。金融商品取引法に基づく、財務報告の信頼性を向上させることを主眼とする内部統制報告制度と、これに先立って施行された会社法における「業務の適正を確保するための体制の整備」の二つの法律を踏まえ、フクダグループにおきましても相当の準備期間を要しその体制整備に当たりました。

とくに医療機器産業は社会との強い信頼関係、お客様に対する信義によって成り立っています、今後さらに自らの健全性と透明性を構築してまいります。

さて、フクダ電子のブランドスローガンである「安全・安心・快適」をお客様へ提供し続けること、それは「ME機器の開発を通じて、医学の進歩に寄与する」という経営理念を実践することから始まります。私どもは“お客様第一主義”を徹底し、これまでの信頼を着実に積み上げ、検査から治療そして経過観察という3本の柱の事業を進展させながら、さらに予防医学・救急医療まで事業領域を広げ、「総合MEメーカー」としての企業価値向上へ進化を続けてまいります。

株主の皆様におかれましては、何卒一層のご理解と変わらぬご支援を賜ります様よろしくお願い申し上げます。

平成20年6月

株主様への利益還元について

当社は株主の皆様への株主還元を経営の重要施策の一つとして考え、内部留保を確保しつつ継続的かつ安定的な利益還元を行うことを基本方針としており、当期末の配当金は1株につき40円とし、中間配当金40円と合わせて、通期配当金は80円とさせていただきます。

1株当たりの配当金

80円
(期末配当:40円
 中間配当:40円)

連結営業の概況

部門別の連結概況

①生体検査装置部門

生体検査装置部門では、海外子会社の売却により超音波画像診断装置の売上が大幅に減少しましたが、血圧脈波検査装置は新製品の投入と市場への浸透により伸長しました。その結果、連結売上高は239億7百万円（前連結会計年度比10.8%減）となりました。

②生体情報モニター部門

生体情報モニター部門では、海外売上高は伸長しましたが、国内売上高の落ち込みをカバーするには至りませんでした。その結果、連結売上高は73億1百万円（前連結会計年度比4.5%減）となりました。

③治療装置部門

治療装置部門では、在宅医療向けレンタル事業（在宅用酸素濃縮器、睡眠時無呼吸症候群の治療器、在宅用人工呼吸器）が引き続き順調に推移したほか、AED（自動体外式除細動器）が大幅に伸長しました。その結果、連結売上高は350億83百万円（前連結会計年度比12.7%増）となりました。

④その他部門

その他部門では、記録紙、ディスプレイ電極や上記各部門の器械装置に使用する付属品及び消耗品を主に扱っております。

その他部門の連結売上高は224億74百万円（前連結会計年度比1.9%減）となりました。

連結経営成績

医療機器業界においては、診療報酬・薬価・特定保険医療材料の公定償還価格の改定、医療機関に対するDPC（入院医療費の包括支払い）拡大などの制度改革が進められる一方、医療制度改革による病院と診療所の機能分化進展、在宅医療分野の拡充が行われました。

このような環境のもと、フクダグループの売上高は885億68百万円（前連結会計年度比0.3%増）となりました。

来期の見通し

来期の経済環境は新興国の経済成長は見込まれるものの、引き続き米国のサブプライムローン問題における实体经济への影響や、原油価格・原材料価格の高騰が予想されます。その結果個人消費の減速や企業の設備投資抑制が見込まれます。

フクダグループの来期見通しは連結売上高900億円、連結営業利益53億円、連結経常利益55億円、連結当期純利益30億20百万円を見込んでおります。

中期経営計画

当社は、企業目標としてグループ全体の継続的な成長と、一定の収益性確保を基本としており、平成24年度に連結経常利益100億円、連結売上高経常利益率10%以上、連結配当性向30%以上を目指します。

平成24年度／企業目標

連結経常利益	100億円
連結売上高経常利益率	10%以上
連結配当性向	30%以上

なお、平成21年3月期を初年度とした新中期3ヵ年における基本的な経営方針と戦略は以下のとおりです。

①中期経営計画方針▶▶▶

我が国の少子高齢化の進展と医療制度改革に伴う医療環境の変化に対応するため、「お客様第一主義」を基本により強固な経営基盤を確立する。

②事業戦略▶▶▶

積極的な投資を行う一方で効率的な経営に取り組む
ドメイン別事業展開の推進
開発プロセスの効率化を目的とした体制の強化
開発から製造まで全体最適を追求した生産性向上

④経営管理体制の充実▶▶▶

ガバナンス・コンプライアンス体制の強化
人材育成・社員教育による組織の活性化
グループ経営管理体制の強化

③販売戦略▶▶▶

急性期医療市場の攻略
在宅医療市場への取り組み強化
保守サービス事業の拡大

⑤企業価値の充実▶▶▶

安定した収益基盤の確保と、株主の皆様への利益還元
環境問題への積極的な取り組み
医療機器を通じた社会貢献

国内においては、診療報酬・薬価・特定保険医療材料の公定償還価格改定に加え、DPC（入院医療費の包括支払い）の拡大や後期高齢者（長寿）医療制度など、医療制度改革が進められております。

引き続き厳しい市場環境が予測されますが、フクダグループは、企業価値向上に努める一方、同業他社には無い差別化した製品の開発、収益確保として保守サービス事業や消耗品販売事業の

強化や販売体制整備のための必要な投資の実施、国内外の競合メーカーとの価格競争力を高めるためのコスト削減に引き続き取り組んでまいります。

さらには、お客様に安心してご使用していただくための品質管理・安全管理体制の強化、維持にも引き続き努め、経営の健全性や透明性を確保するため、内部管理体制の充実を図ってまいります。

見た目では判らない
肺の健康状態を知るヒント

肺年齢

が注目されています！

まんせいへいそくせいはいしつかん

慢性閉塞性肺疾患 (COPD) = **たばこ病**の
早期発見にはスパイロメーターでの検査が有効です！

肺年齢とは？

「肺年齢」とは、その人の呼吸機能が今どのレベルなのかを知るための、ひとつの目安となるもの。実際の年齢より、肺年齢が高ければ高いほど呼吸機能が衰えていることを意味し、低ければ低いほど呼吸機能は健康ということになります。「肺年齢」の計り方は、1秒間に吐ける息の量（1秒量）を計測し、標準となる数値と比較することで算出されます。基準となる1秒量は、性別・年齢・体格などによって異なり、一般的に20歳代をピークに加齢とともに減少するといわれます。

COPD（たばこ病）は世界の死亡原因第4位であり、日本でも推定約540万人がCOPD患者及び予備群であるとされています。その原因は主に喫煙によるもので、「肺の生活習慣病」として近年クローズアップされています。ところが、呼吸器疾患の初期段階では、咳・痰・息切れなど日常生活において自覚症状のわかりにくい症状のため、治療判断が遅れる場合があります。そこで、「肺年齢」を使った検査・診断に期待が集まっております。当社は、この「肺年齢」を一般国民と開業クリニックの先生に認識普及するために呼吸器学会・人間ドック学会・製薬メーカーと共に各地で行われている「肺年齢イベント」に協賛・協力しております。

平成20年4月より
肺機能検査は
人間ドックで必ず行う
検査になりました。

人間ドック学会ガイドライン改定
2008年4月より

電子式診断用スパイロメーター
Spiro Sift **SP-350COPD**

- 「肺年齢」表示やイラストによる診断レポート機能搭載。
- 軽量化で移動がラク。
- たばこ病=COPDの自動判定機能を搭載。

検査から治療まで!

当社ではCOモニター・スパイロメーターの検査装置から在宅酸素療法・

人工呼吸器等の呼吸管理・治療の呼吸器分野関連までトータルサポートいたします。

検査から治療へ

検査



肺年齢や
呼吸機能の検査

診断



診断結果の提示

薬の処方



薬の処方
で
症状を軽減

治療

たばこ病=COPDをはじめとする呼吸器疾患の改善のために、禁煙など生活習慣の改善を指導します。

製品紹介

生体情報モニター

DS-7000 system

手術室専用の高信頼モニター。
正確なデータの提供により、
手術をしっかりとサポート。



主な特長

手術室において、血圧をはじめ生体情報の総合的なモニタリング環境を実現します。患者様の生命に直接関わる手術を、正確性・信頼性の高い計測データでしっかりサポート。また専用キーやタッチパネルの採用などにより操作性が向上しました。視認性の高い大型画面には必要なデータを選んで表示することができ、手術内容・患者様に合わせた様々な状況にきめ細かく適応します。

二層式気道陽圧ユニット

VPAP Adapt SV

睡眠呼吸障害の改善を通して、
効率的な慢性心不全治療と
患者様のQOLの改善に貢献。



主な特長

自発呼吸の減衰した患者様の呼吸をサポートします。心不全をはじめ、糖尿病、高血圧、循環器疾患などの慢性疾患の患者様に多いとされる睡眠呼吸障害の改善に貢献。一息ごとに、患者様の換気ニーズに対応して必要な時に最適な呼吸補助を提供し、自然で快適な呼吸へと導きます。そして呼吸障害の改善を通して、患者様のQOL（クオリティ・オブ・ライフ）の向上に貢献します。

ペーパレス心電計

ESP-300

往診や回診時に持ち運んで、
心電図検査を自在にこなす
コンパクトな手のひらサイズ。



主な特長

手のひらサイズで重量約 350g と軽量のため、携帯性に優れたペーパレス心電計です。往診や回診時もラクに持ち運べ、心電図検査をより手軽に行うことが可能に。しかもコンパクトながらハイエンドモデルと同等の解析アルゴリズムを搭載し、約 128 件のデータを本体メモリに保存できる高い性能。電源は汎用のアルカリ電池や二次使用の電池も使用でき、ランニングコストの軽減に貢献します。

AED (自動体外式除細動器)

HEART START FRx

より様々な環境にも対応でき、
小児を救う新技術を搭載して
活躍の場を広げる新モデル。



主な特長

今、様々な場所に設置が広がる AED (自動体外式除細動器)。水や塵、衝撃に強い新モデルが登場しました。これにより屋外をはじめ、より様々な環境での設置が可能になり、さらに活躍の場所が広がります。また、年齢 (1 才～) を問わず安心してご利用頂ける様、容易な操作によって使用できる新技術を搭載。他にも音声メッセージやアイコンによるガイドの機能も充実しています。

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当 期		前 期		科 目	当 期		前 期	
	平成20年3月31日現在		平成19年3月31日現在			平成20年3月31日現在		平成19年3月31日現在	
資産の部					負債の部				
1 流動資産	63,497	66,784			流動負債	21,347	24,626		
現金及び預金	22,540	24,455			支払手形及び買掛金	12,465	14,917		
受取手形及び売掛金	23,710	24,171			短期借入金	3,500	3,552		
有価証券	999	999			未払法人税等	884	926		
たな卸資産	13,386	13,126			賞与引当金	1,666	1,697		
繰延税金資産	1,928	2,745			役員賞与引当金	98	59		
その他	1,240	1,655			事業整理損失引当金	112	653		
貸倒引当金	△ 308	△ 369			その他	2,620	2,818		
2 固定資産	36,088	36,897			固定負債	4,404	4,474		
有形固定資産	18,496	17,980			長期借入金	183	40		
建物及び構築物	4,250	4,409			退職給付引当金	3,097	3,161		
機械装置及び運搬具	238	247			役員退職慰労引当金	197	1,213		
工具・器具及び備品	7,993	7,846			負ののれん	1	1		
土地	5,997	5,461			その他	925	57		
建設仮勘定	17	15			3 負債合計	25,752	29,100		
無形固定資産	3,295	3,580			純資産の部				
投資その他の資産	14,296	15,337			株主資本	73,311	71,383		
投資有価証券	7,891	10,825			資本金	4,621	4,621		
繰延税金資産	3,351	2,126			資本剰余金	9,982	9,851		
その他	3,102	2,417			利益剰余金	59,473	57,843		
貸倒引当金	△ 49	△ 32			自己株式	△ 766	△ 932		
					評価・換算差額等	510	3,186		
					その他有価証券評価差額金	447	3,197		
					為替換算調整勘定	63	△ 11		
					少数株主持分	11	11		
資産合計	99,585	103,682			純資産合計	73,833	74,581		
					負債・純資産合計	99,585	103,682		

1 流動資産について

現金及び預金の減少19億15百万円や、受取手形及び売掛金の減少4億60百万円などにより、前期末に比べ32億87百万円の減少となりました。

2 固定資産について

土地の取得等による有形固定資産の増加5億16百万円がありました。投資有価証券の減少（時価評価による評価額の減少）等による投資その他の資産の減少10億40百万円などにより、前期末に比べて8億9百万円の減少となりました。

3 負債合計について

支払手形及び買掛金の減少24億52百万円や海外子会社の事業整理損失引当金の減少5億41百万円などにより、前期末と比べて33億48百万円の減少となりました。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当 期	前 期
	平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで	平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで
1 売上高	88,568	88,270
売上原価	51,260	52,242
売上総利益	37,308	36,027
販売費及び一般管理費	31,937	30,084
営業利益	5,370	5,943
営業外収益	445	496
受取利息	18	21
受取配当金	128	140
為替差益	1	29
その他	296	305
営業外費用	131	137
支払利息	82	66
その他	48	70
経常利益	5,684	6,302
特別利益	749	1,318
投資有価証券売却益	427	111
固定資産売却益	10	3
保険解約益	285	55
受取損害賠償金	—	35
事業整理損失引当金戻入益	5	1,113
貸倒引当金戻入益	20	—
特別損失	290	1,034
固定資産売却損	0	7
固定資産除却損	75	41
投資有価証券評価損	—	473
減損損失	31	22
投資有価証券売却損	182	—
ゴルフ会員権売却損	—	20
事業整理損	—	469
税金等調整前当期純利益	6,143	6,587
法人税、住民税及び事業税	1,482	1,476
法人税等調整額	1,483	1,755
少数株主利益	1	1
2 当期純利益	3,174	3,353

1 売上高

AED（自動体外式除細動器）や在宅レンタル事業は順調に推移しましたが、国内医療機関の設備投資抑制の影響や海外売上高の減少などにより、前期比0.3%増の885億68百万円となりました。

2 当期純利益

基幹業務統合システムの構築費用及び減価償却費の増加による販売費及び一般管理費の増加18億52百万円などにより、前期比5.3%減の31億74百万円となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで	平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで
1 営業活動によるキャッシュ・フロー	5,855	8,298
2 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 7,006	△ 7,122
3 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,117	△ 1,327
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 7	31
現金及び現金同等物の増減額	△ 2,276	△ 120
現金及び現金同等物の期首残高	24,297	24,328
連結範囲の変更による現金及び 現金同等物の増加額	△ 62	90
現金及び現金同等物の期末残高	21,958	24,297

1 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益の減少や仕入債務の減少、たな卸資産の増加等により前期比24億43百万円の減少となりました。

2 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出の減少や無形固定資産の取得による支出の減少等により前期比1億16百万円の増加となりました。

3 財務活動によるキャッシュ・フロー

自己株式の売却による収入等により前期比2億9百万円の増加となりました。

連結株主資本等変動計算書 当期(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

(単位:百万円)

	株 主 資 本					評価・換算差額等			少数株主 持 分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合 計	その他有価証券 評 価 差 額 金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成19年3月31日 残高	4,621	9,851	57,843	△ 932	71,383	3,197	△ 11	3,186	11	74,581
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当	—	—	△ 1,536	—	△ 1,536	—	—	—	—	△ 1,536
従業員奨励及び福利基金※	—	—	△ 8	—	△ 8	—	—	—	—	△ 8
当期純利益	—	—	3,174	—	3,174	—	—	—	—	3,174
自己株式の取得	—	—	—	△ 2	△ 2	—	—	—	—	△ 2
自己株式の処分	—	131	—	168	300	—	—	—	—	300
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	△ 2,750	74	△ 2,676	0	△ 2,675
連結会計年度中の変動額合計	—	131	1,629	165	1,927	△ 2,750	74	△ 2,676	0	△ 748
平成20年3月31日 残高	4,621	9,982	59,473	△ 766	73,311	447	63	510	11	73,833

注記事項

※ 中華人民共和国所在の子会社が当該国の法令に基づいて設定したものであります。

単体財務諸表

貸借対照表 (要旨)

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	平成20年3月31日現在	平成19年3月31日現在
資 産 の 部		
流動資産	43,144	47,454
固定資産	36,984	37,839
有形固定資産	15,215	14,785
無形固定資産	3,118	3,435
投資その他の資産	18,650	19,618
資産合計	80,129	85,293
負 債 の 部		
流動負債	19,867	23,582
固定負債	1,911	2,050
負債合計	21,779	25,633
純 資 産 の 部		
株主資本	57,903	56,463
資本金	4,621	4,621
資本剰余金	9,982	9,851
利益剰余金	44,066	42,923
自己株式	△ 766	△ 932
評価・換算差額等	446	3,197
その他有価証券評価差額金	446	3,197
純資産合計	58,350	59,660
負債純資産合計	80,129	85,293

損益計算書 (要旨)

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	平成19年4月1日から平成20年3月31日まで	平成18年4月1日から平成19年3月31日まで
売上高	56,100	54,064
売上原価	41,372	41,720
売上総利益	14,728	12,343
販売費及び一般管理費	12,675	11,138
営業利益	2,053	1,205
営業外収益	1,719	1,538
営業外費用	111	238
経常利益	3,661	2,505
特別利益	790	1,840
特別損失	39	1,228
税引前当期純利益	4,412	3,117
法人税・住民税及び事業税	90	10
法人税等調整額	1,642	2,017
当期純利益	2,679	1,090

株主資本等変動計算書 当期 (平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

(単位:百万円)

	株 主 資 本					評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
平成19年3月31日 残高	4,621	9,851	42,923	△ 932	56,463	3,197	3,197	59,660
事業年度中の変動額								
剰余金の配当	—	—	△ 1,536	—	△ 1,536	—	—	△ 1,536
当期純利益	—	—	2,679	—	2,679	—	—	2,679
自己株式の取得	—	—	—	△ 2	△ 2	—	—	△ 2
自己株式の処分	—	131	—	168	300	—	—	300
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	△ 2,750	△ 2,750	△ 2,750
事業年度中の変動額合計	—	131	1,142	165	1,440	△ 2,750	△ 2,750	△ 1,310
平成20年3月31日 残高	4,621	9,982	44,066	△ 766	57,903	446	446	58,350

会社の概況

株式の状況

発行可能株式総数 78,000,000株
 発行済株式の総数 19,588,000株
 株主数 2,406名

自己株式の取得状況

・当期中の取得株式は単元未満株式の買取による5,039株となっております。

自己株式の処分状況

・当期中の処分は行っておりません。

自己株式の保有状況

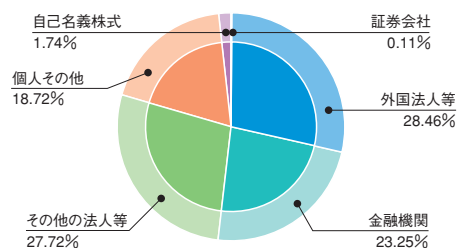
・平成20年3月31日現在の保有自己株式数は以下のとおりとなっております。

区 分	株式数
発行済株式の総数	19,588,000株
自 己 株 式 数	340,139株

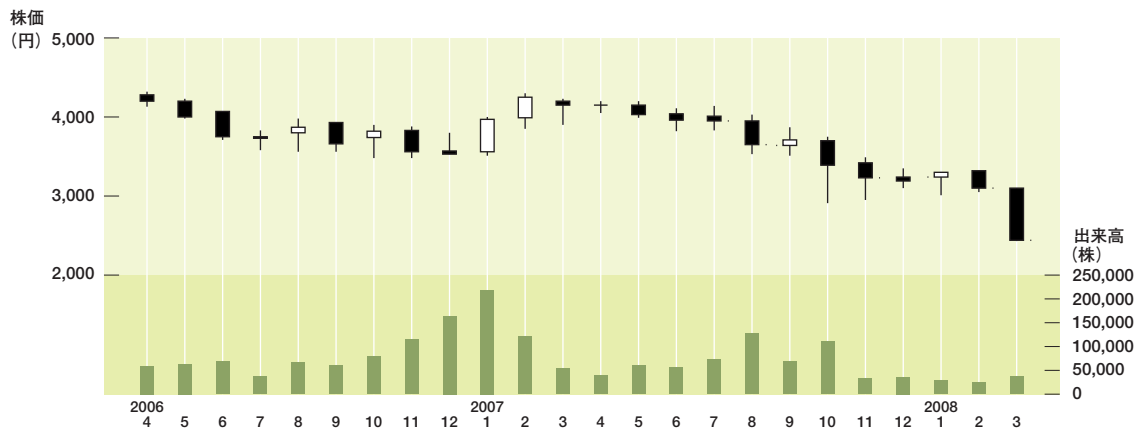
大株主

株 主 名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
ステールパートナーズ ジャパン ストラテジックファンド(オアショア)エルピー	2,760	14.09
アトミック産業株式会社	2,486	12.69
東京エンタープライズ株式会社	1,447	7.39
みずほ信託 退職給付信託東京都民銀行口 再信託受託者資産管理サービス信託	922	4.71
株式会社みずほ銀行	778	3.98
日本生命保険相互会社	752	3.84
株式会社三菱東京UFJ銀行	725	3.71
ダンスケ バンク クライアーツ ホールディングス	641	3.27
メロンバンク トリーティー クライアーツ オムニバス	599	3.06
福 田 順 子	550	2.81

所有者別分布状況 (%は持株比率)



株価の推移



会社の概況

設立年月日	昭和23年7月6日
資本金	46億2,160万円
事業内容	医用電子機器の製造・販売および輸出入
主な取引銀行	株式会社東京都民銀行 株式会社みずほ銀行 株式会社三菱東京UFJ銀行 株式会社北陸銀行 商工組合中央金庫 住友信託銀行株式会社

取締役及び監査役 (平成20年6月26日現在)

代表取締役社長	福田 孝太郎
専務取締役	藤原 潤三
専務取締役	尾崎 健治
常務取締役	白谷 大治郎
常務取締役	瀬川 裕一郎
取締役	瀬川 進修
取締役	白川 行雄
取締役	中川 根泉
取締役	坪根 修一
常勤監査役	福田 吉正
監査役	小川 芳法
監査役	岡本 澤雄
監査役	伊藤 啓二

フクダグループ (平成20年6月26日現在)

フクダ電子北海道販売株式会社	フクダ電子兵庫販売株式会社	フクダライフテック南近畿株式会社
フクダ電子北東北販売株式会社	フクダ電子岡山販売株式会社	フクダライフテック兵庫株式会社
フクダ電子南東北販売株式会社	フクダ電子広島販売株式会社	フクダライフテック中国株式会社
フクダ電子新潟販売株式会社	フクダ電子四国販売株式会社	フクダライフテック四国株式会社
フクダ電子北関東販売株式会社	フクダ電子西部北販売株式会社	フクダライフテック九州株式会社
フクダ電子西関東販売株式会社	フクダ電子西部南販売株式会社	フクダカーディアックラボ東日本株式会社
フクダ電子南関東販売株式会社	フクダライフテック北海道株式会社	フクダカーディアックラボ西日本株式会社
フクダ電子東京販売株式会社	フクダライフテック北東北株式会社	フクダライフテック株式会社
フクダ電子東京中央販売株式会社	フクダライフテック南東北株式会社	フクダカーディアックラボ株式会社
フクダ電子東京西販売株式会社	フクダライフテック新潟株式会社	フクダメディカルソリューション株式会社
フクダ電子神奈川販売株式会社	フクダライフテック関東株式会社	FUKUDA DENSHI USA.,INC.
フクダ電子北陸販売株式会社	フクダライフテック常葉株式会社	北京福田電子医療機器有限公司
フクダ電子長野販売株式会社	フクダライフテック東京株式会社	株式会社フクダ電子多賀城研究所
フクダ電子中部販売株式会社	フクダライフテック横浜株式会社	株式会社フクダ物流センター
フクダ電子三岐販売株式会社	フクダライフテック北陸株式会社	フクダ電子技術サービス株式会社
フクダ電子京滋販売株式会社	フクダライフテック長野株式会社	FUKUDA DENSHI Switzerland AG
フクダ電子近畿販売株式会社	フクダライフテック中部株式会社	
フクダ電子南近畿販売株式会社	フクダライフテック関西株式会社	

フクダグループの取り組み

どこでも、誰にでも使いやすくなった新型で、
AEDの一層の普及に努めてまいります。

耐水性や耐衝撃性を向上させることで、これまで難しかった使用場所を可能にした新しいAEDが登場しました。さらにお子様に対する処置方法も一段と容易になり、これからますます設置台数の増加が期待されます。フクダグループは、多くのかけがえのない命を救うことができるよう、今後もAEDの普及に一層努めてまいります。



自動体外式除細動器 (AED) HEART START FRx



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	(郵便物送付先)	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
定時株主総会	毎年6月開催		住友信託銀行株式会社 証券代行部
基準日	定時株主総会 毎年3月31日	(電話照会先)	(住所変更等用紙のご請求) ☎0120-175-417
	期末配当 毎年3月31日		(其他のご照会) ☎0120-176-417
	中間配当 毎年9月30日	(インターネットホームページURL)	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html
	そのほか、必要ある場合は、あらかじめ公告して定めた日	同取次所	住友信託銀行株式会社 本店および全国各支店
株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号	公告方法	当社ホームページに掲載する。
	住友信託銀行株式会社		< http://www.fukuda.co.jp/ >
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番4号	上場金融商品取引所	ジャスダック証券取引所
	住友信託銀行株式会社 証券代行部		